

解答例

【問題 5】

- (I) (1) n と $n(n+3)$ はともに 4 の倍数ではない。
(2) $n^2 + 2n$ は 5 の倍数ではなく、かつ、 n は 8 以下である。
(3) $n = 1, 2, 4, 6, 7$
- (II) (1) 全射でない。単射である。全単射でない。
(2) $f(B) = \{2, 10, 37\}$ であり、 $f(C) = \{2, 5, 17\}$ であり、 $f(A \setminus B) = \{5, 17, 26\}$ である。
(3) $A \setminus f(C) = \{1, 3, 4, 6\}$ であり、 $f(B) \cap C = \{2\}$ である。

【問題 6】

- (I) (1) B_2 のみが $2A + B$ を定義することができ、 $2A + B_2 = \begin{pmatrix} 5 & 8 & -2 \\ 6 & 7 & -1 \end{pmatrix}$ 。
(2) B_2, B_4, B_6 が AB を定義することができ、
$$AB_2 = \begin{pmatrix} -5 & 1 \\ -12 & -14 \end{pmatrix}, AB_4 = \begin{pmatrix} 6 \\ 13 \end{pmatrix}, AB_6 = \begin{pmatrix} 0 & 4 & 16 \\ 23 & -1 & 25 \end{pmatrix}$$

(3) B_1 は正則であり、逆行列 B_1^{-1} は $B_1^{-1} = \frac{1}{11} \begin{pmatrix} 4 & 1 \\ 3 & -2 \end{pmatrix}$ 。
- (II) 写像 f は線形写像ではない。実際、あるベクトル \vec{x}_1, \vec{x}_2 が存在して $f(\vec{x}_1 + \vec{x}_2) \neq f(\vec{x}_1) + f(\vec{x}_2)$ を満たすこと、またはある実数 c とベクトル \vec{x}_1 が存在して $f(c\vec{x}_1) \neq cf(\vec{x}_1)$ を満たすことが確認されていれば良い。

【問題 7】

(1) $B = \begin{pmatrix} \cos \theta & \sin \theta \\ -\sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} A \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$ より、

$$B = \begin{pmatrix} a(1 - \cos 2\theta) + b \sin 2\theta + c & a \sin 2\theta + b \cos 2\theta \\ a \sin 2\theta + b \cos 2\theta & a(1 - \cos 2\theta) - b \sin 2\theta + c \end{pmatrix}.$$

- (2) (1) の計算より、

$$\det B = \det \begin{pmatrix} \cos \theta & \sin \theta \\ -\sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} (\det A) \det \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} = (2a + c)c - b^2.$$

- (3) $a^2 + b^2 \neq 0$ であるとき、 $a \sin 2\theta + b \cos 2\theta = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(2\theta + \alpha)$ より、行列 B が対角行列であれば、 $\sin(2\theta + \alpha) = 0$ を得る。よって、 $\theta = \frac{n\pi - \alpha}{2}$ (ただし n は整数) である。

(4) $a^2 + b^2 \neq 0$ とする. このとき

$$\begin{aligned} b \sin 2\theta - a \cos 2\theta &= \sqrt{a^2 + b^2} \left(\frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}} \sin 2\theta - \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}} \cos 2\theta \right) \\ &= \sqrt{a^2 + b^2} (\sin \alpha \sin 2\theta - \cos \alpha \cos 2\theta) = -\sqrt{a^2 + b^2} \cos(2\theta + \alpha), \\ -b \sin 2\theta + a \cos 2\theta &= \sqrt{a^2 + b^2} \left(-\frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}} \sin 2\theta + \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}} \cos 2\theta \right) \\ &= \sqrt{a^2 + b^2} (-\sin \alpha \sin 2\theta + \cos \alpha \cos 2\theta) = \sqrt{a^2 + b^2} \cos(2\theta + \alpha) \end{aligned}$$

を満たす. 行列 B が対角行列であれば, (3) より $\theta = \frac{n\pi - \alpha}{2}$ (ただし n は整数) であるので, 行列 B の (1,1) 成分を b_{11} とし, (2,2) 成分を b_{22} とするとすると,

$$\begin{aligned} b_{11} &= a + c + b \sin 2\theta - a \cos 2\theta = a + c - \sqrt{a^2 + b^2} \cos(2\theta + \alpha) \\ &= a + c - \sqrt{a^2 + b^2} \cos n\pi = a + c + (-1)^{n+1} \sqrt{a^2 + b^2}, \\ b_{22} &= a + c + (-b \sin 2\theta + a \cos 2\theta) = a + c + \sqrt{a^2 + b^2} \cos(2\theta + \alpha) \\ &= a + c + \sqrt{a^2 + b^2} \cos n\pi = a + c - (-1)^{n+1} \sqrt{a^2 + b^2} \end{aligned}$$

を満たす. したがって, 次を得る.

$$B = \begin{pmatrix} a + c + (-1)^{n+1} \sqrt{a^2 + b^2} & 0 \\ 0 & a + c - (-1)^{n+1} \sqrt{a^2 + b^2} \end{pmatrix}, \quad (\text{ただし, } n \text{ は整数}).$$

【問題 8】

(1) A の固有方程式は

$$\det(tE_2 - A) = \det \begin{pmatrix} t-2 & -3 \\ -3 & t-2 \end{pmatrix} = (t-5)(t+1) = 0$$

である. よって, A の固有値は 5 と -1 である.

(2) • A の固有値 5 に属する固有ベクトル $\vec{w} = {}^t(w_1, w_2)$ は,

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} = (5E_2 - A)\vec{w} = \begin{pmatrix} 3w_1 - 3w_2 \\ -3w_1 + 3w_2 \end{pmatrix}$$

を満たす. この方程式を満たす長さ 1 のベクトルとして, $\frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ を選べる.

• A の固有値 -1 に属する固有ベクトル $\vec{w} = {}^t(w_1, w_2)$ は,

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} = (-E_2 - A)\vec{w} = \begin{pmatrix} -3w_1 - 3w_2 \\ -3w_1 - 3w_2 \end{pmatrix}$$

を満たす. この方程式を満たす長さ 1 のベクトルとして, $\frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \end{pmatrix}$ を選べる.

(3) 行列の対角化を利用する. (2) より, 2次正方行列 R を $R = \frac{1}{\sqrt{2}} \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$ で定め, 2次

対角行列 D を $D = \begin{pmatrix} 5 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ で定めると, 行列 A は ${}^tRAR = D$ を満たし対角化できる. 特に, tR は正則であり逆行列 R をもつことに注意すると, $A = RDR^{-1}$ を満たす. すべての自然数 n に対して, $D^n = \begin{pmatrix} 5^n & 0 \\ 0 & (-1)^n \end{pmatrix}$ であるので,

$$\begin{aligned} A^n &= RD^nR^{-1} \\ &= \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 5^n & 0 \\ 0 & (-1)^n \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix} = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 5^n + (-1)^n & 5^n - (-1)^n \\ 5^n - (-1)^n & 5^n + (-1)^n \end{pmatrix} \end{aligned}$$

が成り立ち,

$$\begin{pmatrix} a_{n+1} \\ b_{n+1} \end{pmatrix} = A^n \begin{pmatrix} a_1 \\ b_1 \end{pmatrix} = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 5^n + (-1)^n & 5^n - (-1)^n \\ 5^n - (-1)^n & 5^n + (-1)^n \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5^n \\ 5^n \end{pmatrix}$$

を得る. よって, 数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項はそれぞれ $a_n = 5^{n-1}$, $b_n = 5^{n-1}$ である. あるいは, 数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ の一般項を推測した上で数学的帰納法を用いて示しても良い.

【問題 9】

(1) ${}^tAA = E_2$ より A は直交行列であり, ${}^tBB = E_2$ より B は直交行列である.

(2) A の固有方程式 $\det(tE_2 - A) = 0$ の解は,

$$\det(tE_2 - A) = \det \begin{pmatrix} t - \cos \alpha & -\sin \alpha \\ -\sin \alpha & t + \cos \alpha \end{pmatrix} = (t-1)(t+1)$$

より, $1, -1$ である. よって, A の固有値は $1, -1$ である.

(3) A の固有値に属する固有ベクトルは \vec{v}_2 と \vec{v}_4 である.

- A の固有値 1 に属する固有ベクトル $\vec{w} = {}^t(w_1, w_1)$ は,

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} = (E_2 - A)\vec{w} = \begin{pmatrix} 1 - \cos \alpha & -\sin \alpha \\ -\sin \alpha & 1 + \cos \alpha \end{pmatrix} \begin{pmatrix} w_1 \\ w_2 \end{pmatrix}$$

を満たす. この方程式を満たすベクトルは, $0 < \alpha < \pi$ であることに注意すると, \vec{v}_2 に限ることがわかる.

- A の固有値 -1 に属する固有ベクトル $\vec{w} = {}^t(w_1, w_1)$ は,

$$\begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix} = (-E_2 - A)\vec{w} = \begin{pmatrix} -1 - \cos \alpha & -\sin \alpha \\ -\sin \alpha & -1 + \cos \alpha \end{pmatrix} \begin{pmatrix} w_1 \\ w_2 \end{pmatrix}$$

を満たす. この方程式を満たすベクトルは, $0 < \alpha < \pi$ であることに注意すると, \vec{v}_4 に限ることがわかる.

(4) 行列 BA について, $BA = \begin{pmatrix} \cos(\alpha + \beta) & \sin(\alpha + \beta) \\ \sin(\alpha + \beta) & -\cos(\alpha + \beta) \end{pmatrix}$ が成り立つ. よって, (2) と同様に BA の固有値は $1, -1$ である.

(5) 行列 BA について, $BA = \begin{pmatrix} \cos(\alpha + \beta) & \sin(\alpha + \beta) \\ \sin(\alpha + \beta) & -\cos(\alpha + \beta) \end{pmatrix}$ が成り立つ. よって, (3) と同様に考えると, 固有値 1 に属する固有ベクトルとして

$$t \left(\cos \frac{\alpha + \beta}{2}, \sin \frac{\alpha + \beta}{2} \right)$$

を選ぶことができ, 固有値 -1 に属する固有ベクトルとして

$$t \left(-\sin \frac{\alpha + \beta}{2}, \cos \frac{\alpha + \beta}{2} \right)$$

を選ぶことができる.

以上